

木津川市マスコットキャラクター着ぐるみ使用フローチャート

「木津川市マスコットキャラクター着ぐるみ使用に関する取扱要綱」で申請条件等を確認する



「別記様式第1号 着ぐるみ使用申請書」を記入し、木津川市役所観光商工課に提出する



木津川市役所観光商工課より「別記様式第2号 着ぐるみ使用許可書」が交付される



※使用条件を満たしている方に限られます。
※使用条件を満たしていない場合、「別記様式第3号 着ぐるみ使用不許可書」が交付されます。

木津川市役所観光商工課と受け渡しの時間などを調整する



使用開始日、着ぐるみを借りる



使用日当日、着ぐるみを実際に使用する



※カメラ等で必ず使用状況を撮影してください。

使用最終日、着ぐるみを返却する



※使用した上下スーツは、**クリーニング（汚れがひどい場合）**してから返却してください。

使用后、「別記様式第4号 着ぐるみ使用状況報告書」を写真等とともに提出する

【問い合わせ先・申請先】

木津川市役所 観光商工課 木津川市木津南垣外110-9

TEL:0774-75-1216 (直通)

FAX:0774-72-3900

E-mail kanko@city.kizugawa.lg.jp

木津川市マスコットキャラクター 着ぐるみ装着要領

1：事前確認

- 装演者1人、アテンダント（随行補助者）1人を最小限の人員とする。
- 幼児が集まるイベントはアテンダントを2人以上とする。
- 装演者とアテンダントは着ぐるみ装着要領を熟知しておく。
- イベントなどの演出、進行等について十分に打ち合わせを行う。
- 関係者以外立ち入り禁止、外から見えない控え室を確保する。
- 控え室は搬入、着替え、装着後の出入りができることを確認する。
- 着替え場所は清潔な場所にシートなどを敷き、着ぐるみを直接地面に置かない。

2：運搬

- 運搬時は2人以上の人員を確保し、慎重に取り扱う。
- 搬入・搬出に当たり、着ぐるみであることがわからないようにする。
- 移動の際は、着ぐるみに積み重ねないで運べる車両を用意する。
- ボディ（特に眼部分）が外部のものとこすれ合わないようにする。

3：着ぐるみの説明

構成 ヘ ッ ド *正面・左右の目・おでこ・口がのぞき窓になっています。

ボディ（顔） *下から入って着用します。

*手袋一体型

シューズ *サンダル状になっています。

収納袋

取り扱い ●火気厳禁

●雨天時の屋外使用厳禁

4：着替え

- ①ズボンを履きます。
- ②肩ベルトの調節をして胴を着て下さい。
- ③靴を履きます。
- ④手袋をはめます。
- ⑤頭を被り、あご紐をとめます。

*着る前に羽衣を頭部に装着します。

5：装演者について

装演者は、身長165センチメートル前後が望ましい。

■服装

- 頭には必ずタオル、手ぬぐい、バンダナなどをまく。
- 内部は高温多湿のうえ、上下スーツを重ね着するため、体に密着した服装を着用する。例：長袖Tシャツ、薄手の長ズボン、綿靴下。
- 衛生面を考慮し、素足でシューズを着用しない。
- 肌が直接胴体部分に触れないように心がける。
- 裸眼かコンタクトとし、眼鏡の場合は曇り止め、眼鏡バンドを装着する。
- アクセサリーは外し、化粧は落とす。

■装演

- 1回の装演時間は30分以内（夏場は15分以内）とし、必ず休憩を取る。
- 行事が長時間に及ぶ場合は装演者を複数体制とし順次交替する。
- 睡眠不足・二日酔い、喫煙者は厳禁とし、体調の悪いときは交替する。

6：装演者の注意事項

- 装着前に必ず適度な準備運動をする。
- 視界および動作を確認し、周囲への注意を怠らないようにする。
- お客様がいるところ、見ているところでは着ぐるみの着脱は行わない。

- 演技中は声を発しない。
- 30分ごとの休憩を基本とし、無理・無茶な行動はしない。
- 炎天下での装演は時間を調節し、必ず水分補給を行う。
- 緊急の場合に備え、アテンダントへのサイン等を決めておく。
- 乱暴な行為を受けた際もアテンダントへのサインで対処する。
- 着ぐるみ装着時は休憩中であっても喫煙は厳禁。
- 靴の幅を意識し、足を肩幅程度に開き、すらないように持ち上げて歩く。
- 自分の下、死角に子どもがいないか注意する。
- 絶対に走らない、階段を通行しない（事故、けが、破損につながる）。
- 演技は大きな動きを心がける。
- 必ずアテンダントの指示に従う。
- キャラクターのイメージを損なわないようにする。

7：アテンダントの注意事項

- アテンダントは必ず1人以上つけ、常にいづみ姫と周囲に注意を払う。
- 装着後に装着の状況、破損・汚れの有無をチェックする。
- 装演者を呼ぶときは「いづみ姫」といい、無駄な話をしない。
- いづみ姫とは並列の位置にいて、いづみ姫目線で対応できる距離を保つ。
- 装演者は視界が限られるため、絶えず周囲に気を配り、状況を知らせる。
- 交流のため積極的にゲストに語りかける（アテンダントはいづみ姫の分身）。
- 移動や上演時の補助、握手や写真撮影の際の整理を行う。
- 出演時間・進行管理をしっかり行う。
- 着ぐるみに危害を加えるお客様にはハッキリとやさしく注意する。

8：収納

- ヘッドとボディの内側を硬く絞ったウエスで水拭き後に乾拭き、乾燥させる。

上下スーツについては、クリーニングする。（代金は自己負担）

※クリーニングにかかる時間を踏まえ、早めにクリーニング店等に出してください

上下スーツ以外については、消臭・殺菌スプレー（ファブリーズ）する。

シューズ底の汚れを拭き取り、収納袋に収納する。

ヘッド、上下スーツ（クリーニング後）もそれぞれ収納袋に収納する。

全て収納袋に入れたら、カートン収納する。

丁寧に収納、運搬を心がけ、転がしたり引きずったりしない。

9：トラブル

汚れたり、破損したりした場合は使用を中止する。

トラブルがあった場合は観光商工課に連絡する。

10：返却

返却にあたり、使用後の状況を観光商工課職員とともに確認する。

別記様式第4号「着ぐるみ使用状況報告書」を撮影した写真等とともに提出する。